



第36号

港北区体育指導委員  
連絡協議会広報紙

# 活き生き体指

KOHOKU

No.36

平成21年11月30日発行  
 発行者 港北区体育指導委員連絡協議会  
 編集 港北区体指広報委員会  
 事務局 横浜市港北区大豆戸町26-1  
 横浜市港北区役所地域振興課内  
 ☎ 045-540-2241  
 FAX 045-540-2245

港北区制 70 周年  
横浜開港 150 周年記念

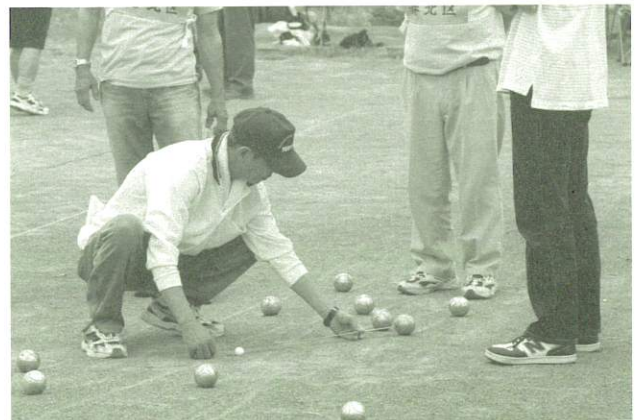
## 第 14 回港北区ペタンク大会

平成 21 年 8 月 31 日 (日) 鶴見川樽町公園他目的広場において港北区制 70 周年・横浜開港 150 周年記念第 14 回港北区ペタンク大会が開催されました。時々小雨の降るあいにくのお天気となりましたが、96 チーム (288 名) の選手が熱戦を繰り広げました。

●大会結果

👑優勝 新吉田町会C

第2位	宮前なかよし	第6位	大倉山ハイムB	第10位	太尾下町会
第3位	大倉山ハイムA	第7位	シノハラダイヤモンド	第11位	太尾西町会B
第4位	新吉田本町町内会	第8位	サンハイツ	第12位	第一親和会
第5位	大曽根中央懇話会精鋭	第9位	百太郎	ふれあい優勝	新羽ニューバード



### 区制70周年記念ペタンク大会に優勝して

新吉田町会Cチーム 小澤 康宏

区制 70 周年記念の第 14 回港北区ペタンク大会で優勝したことが、正直、私には今でも信じられません。地区連合の選抜大会で惨敗し、一般参加で出場したチームです。メンバーは伊藤正一、碓谷久志、小澤の 3 人です。私は体指の OB でペタンクの経験がありますが、伊藤、碓谷の両氏はほとんど初心者です。

新吉田町会の仲間たちは、甲子園の高校野球でも 7 勝すれば優勝できるのに 11 連勝とは出来すぎ、奇跡まぐれ、とからかいながら、盛大に祝福してくれました。

町会長は、班長会の席上で、優勝カップを自分が取ったかのように高々と掲げ、絶賛してくれました。

ペタンクは実力八分に運二分の競技だ、というのが私の持論です。確かに 1 点差で勝利を得たことが幾度もありました。しかし、最後の最後まで諦めな



いで、3 人で声をかけあい、心をつにして頑張ったことに間違いはありません。

努力が運を呼ぶ、これからの私の人生もこうありたいと願っています。

終わりにあたり、今大会の運営にお世話下さいました関係者各位と体指の皆様にご心から感謝申し上げます。

## ペタンク大会の思い

ペタンク委員会副委員長 高橋 健二



第14回港北区ペタンク大会は、港北区制70周年・横浜開港150周年の祝祭年と重なり優勝カップも新調し、参加チームも従来の64チームから96チームと成る日本でも有数のビッグな大会となりました。我々ペタンク委員が企画・運営等、させていただきました。当日は試合開始早々に、時おり小雨が落ちてくる悪天候でしたが、選手の熱意で雨も蹴飛ばし何とか試合終了まで遂行できました事を改めて感謝いたします。試合進行・選手の集合・審判員の判定、色々な問題も残りましたが、前大会より一段と充実した様感じております。これも日頃より松本会長を筆頭に各地区の会長及び体育指導委員一人一人の成果だと思っております。これからのスポーツ活動は、今までとは違い世代間の交流・健康保持・住民の生き甲斐づくりが求められています。ルールが簡単なうえ、広い場所も必要としない誰でも気軽にできるスポーツとしてこのペタンク競技が、担い手となればと願っております。これからも体育指導委員として、指導的立場で積極的な普及活動に邁進する所存であります。“ペタンクに光を！”

## 港北区子どもスポーツフェスティバル

7月19日(日)港北スポーツセンターで、港北区子どもスポーツフェスティバルが開催されました。

港北区体育協会がバレーボール、バトミントン、卓球、太極拳、フラダンス、スポーツチャンバラを担当し、体育指導委員はペタンク、グラウンドゴルフ、ユニホック、フットサルを担当しました。

各種目を体験してスタンプを集めると、横浜開港150周年グッズやスポーツグッズなど豪華賞品が盛りだくさんの大抽選会に参加できるとあって、参加者はいくつもの種目を競うように体験して汗を流していました。

フットサルでは親チームと子チームに分かれて親子対決の熱戦が繰り広げられ、グラウンドゴルフでは楽しそうにプレーされている親子が強く印象に残っています。

港北区イメージキャラクター「ミズキー」と市体

育協会イメージキャラクター「キャプテンわん」もやってきて、会場に華を添えていました。

(新羽地区体育指導委員連絡協議会会長 小松 賢吉)



▲フットサルを楽しむ子どもたち



▲当選番号の発表を目を輝かせて待つ子どもたち  
『ミズキー』と『キャプテンわん』も抽選のお手伝い



▲スポーツチャンバラで「真剣勝負!!」  
事前申込でもすぐに定員になってしまう人気スポーツ

## 港北区体育指導委員研究会

平成21年6月14日実施

真新しいジャージを身につけ、この日の会場港北小へ。右も左もわからない状態で、しかも頼みの先輩方は午後からの参加。朝は心細さと緊張でいっぱいでした。

挨拶に続いて研修内容の説明を受けた後、2グループに分かれていよいよグラウンドゴルフとペタンクの実技が始まりました。

それまでペタンクには何度か参加していたものの、グラウンドゴルフは全く経験なし。それでも、わかりやすいルールでプレーを楽しめ、スコアのつけ方を教えていただきながら審判もできるようになりました。ゴルフがお好きであろう男性が、妙に真剣にプレーされているのもほほえましく、いつのまにか私もすっかり笑顔に！

ペタンクでは「こんな頼りない審判じゃ困るなあ」と言われてしまう場面もありましたが、同時に丁寧なアドバイスを頂いて、



それからはほぼ順調でした。

おいしいお弁当を皆でご馳走になった後、先輩方の合流でホッとしたのも正直なところですが、どの場所でも皆様が笑顔で迎えて下さったことが心に残っています。

早朝から準備、ご指導くださった皆様にお礼を申し上げます。

(大曽根地区体育指導委員 細野 友紀子)



### 港北区制 70 周年 横浜開港 150 周年記念

## ふるさと港北ふれあいまつり

10月17日(土)薄曇りの中「ふるさと港北ふれあいまつり」が新横浜公園にて開催されました。開始直後から大勢の方々が来場。90ちかいブースがみるみる活気を運び、ステージ前も人、人、人で埋めつくされていきます。ステージでは、区民グループによる歌や踊り、子供たちに大人気のキャラクターショー等があり、にぎやかで楽しい時間が続きます。

体指ブースではグラウンドゴルフ、ペタンクの体験ができます。ペタンクの重いボールを上手く転が

す小さなお子さん、最後の一投の大逆転に大喜ぶするお母さん。グラウンドゴルフでは2打で決めるお年寄り、ホールポスト近くまで行きながらトマリにならないお父さん、と悲喜交々。家族全員で楽しむ方、二度、三度と遊びに来て下さる方、と最後まで参加希望者が絶えず担当者全員休む間もありません。しかし、「機会があったら、またやってみたい！」そんな嬉しい言葉を何回も聞けた一日でもありました。

(篠原地区体育指導委員 内田 洋子)



▲グラウンドゴルフ



▲ペタンクを楽しむ親子

健民祭

～体育祭・大運動会～

# 第19回あすなろ地区ふれあい運動会

新吉田あすなろ地区体育指導委員 佐藤 正吾

10月11日(日)、第19回あすなろ地区ふれあい運動会が、新田中学校グラウンドで行われました。朝早くから大勢の方々に参加いただきました。開会式後、黄組、白組、赤組、青組、緑組に分かれて競技開始です。和笑楽笑、大爆笑、そして笑い泣き、様々なドラマがありました。組対抗得点競技ともなれば、応援旗を振りながらの大声援、これぞ運動会の醍醐味。昼食後は恒例の〇×クイズです。今年の最終正解者の賞品は、何と美味しい新米でした。「絶対もらって帰るぞ」と目の色も変わります。〇か×に一喜一憂、大変盛り上がりました。

そして最終種目はやはり男女対抗リレー。この結果が組別順位を大きく左右するとあって、毎回気合の入りが違います。今年は赤組が優勝。閉会式で優勝カップを受け取る赤組代表者の誇らしげな顔がとても印象的でした。

来年は第20回の記念大会です。どんな運動会になるのか。今からとても楽しみです。最後になりますが、体育指導委員並びに大会役員の皆様、本当にご苦労様でした。また、新田中学校の先生、生徒の皆様、ご支援ご協力ありがとうございました。



# 第21回網島スポーツフェスティバル

網島地区体育指導委員 大谷 幸弘

10月11日(日)、快晴の下、網島小学校にて、網島地区全13町会から約1000人が参加し行われました。今回は町会対抗種目を増やしたいということで、新たに「大球渡し」を追加しました。小学生から成人まで列をつくり、大球を頭上に掲げながら送り渡していき、ゴールまでのタイムを競うというものですが、予想以上にあっけなく終わってしまったこと等、課題の残る結果となりました。次回はより改善がなされることと思います。人気の「持久走」は小学生から成人までを5つの部に分けて実施しています。今回は順位判定の間違いを防ぐために、今まで小学生の部で採用

していた小学校外周のコースを成人の部でも採用し、成人の部の1周当たりの距離を長くしました。そのためか特にトラブルはありませんでした。毎回、小学生の参加者が非常に多く私たちもやりがいがあります。運営面では、私たちと各町会から選出された実行委員さんとの連携がとてもうまくいきました。みんな一丸となれたことは嬉しいかぎりです。

お陰様で無事終わることができました。今は満足感と心地よい疲労感が残っています。次回もパワー溢れる盛大な催しとなることを祈っております。

